

2021年3月10日

横浜ゴム、2021年モータースポーツ活動計画

横浜ゴム（株）は2021年のモータースポーツ活動計画を発表しました。当社は中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財戦略において、高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。その中で、モータースポーツ活動を技術開発および「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦していきます。なお、イベントレポートやリザルトは、横浜ゴムのモータースポーツサイトやモータースポーツ専用の公式 SNS でも情報を発信していきます。主な活動計画は以下の通りです。



■ GT・ツーリングカーレース

<SUPER GT>

「SUPER GT」はメーカーのワークス勢が主力となる GT500 と個性的なチームが競い合う GT300 の 2 つのクラスで争われます。GT500 は独自の規則に則った車両が参戦。一方、GT300 は自動車メーカーが製造販売する国際規格の FIA GT3 マシンと日本独自の JAF-GT 車両ならびにマザーシャシーが混在し、国内外のバラエティ豊かな車種が競い合います。2020 年は KONDO RACING の「リアルイズ 日産自動車大学校 GT-R（藤波清斗選手／ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手）」が GT300 クラスのシリーズチャンピオンを獲得しました。2021 年は GT500 では 2 チームをサポートし、GT300 においても 19 台にタイヤを供給してヨコハマタイヤユーザーを支えています。2021 年は国内での全 8 大会の開催が予定されています。



「SUPER GT(GT500)」KONDO RACING の「リアルイズコーポレーション ADVAN GT-R」*



「SUPER GT(GT500)」TGR TEAM WedsSport BANDOH の「WedsSport ADVAN GR Supra」*



「SUPER GT(GT300)」KONDO RACING の「リアルイズ日産自動車大学校 GT-R」*

※写真は 2021 SUPER GT 公式テスト 岡山のものです。

(GT500 クラス)

チーム	ドライバー	車名
KONDO RACING	高星 明誠 佐々木 大樹	リアライズコーポレーション ADVAN GT-R
TGR TEAM WedsSport BANDO	国本 雄資 宮田 莉朋	WedsSport ADVAN GR Supra

(GT300 クラス)

チーム	ドライバー	車名
GOODSMILE RACING & TeamUKYO	谷口 信輝 片岡 龍也	グッドスマイル 初音ミク AMG
TEAM MACH	平木 湧也 平木 玲次	マッハ車検 GTNET MC86 マッハ号
Team LeMans w/ MOTOYAMA Racing	本山 哲 片山 義章	Team LeMans Audi R8 LMS
BMW Team Studie × CSL	荒 聖治 山口 智英	Studie PLUS BMW
PACIFIC CARGUY Racing	木村 武史 ケイ・コッツォリーノ	PACIFIC NAC CARGUY Ferrari
TEAM UPGARAGE	小林 崇志 名取 鉄平	UPGARAGE NSX GT3
Audi Team Hitotsuyama	川端 伸太郎 篠原 拓朗	Hitotsuyama Audi R8 LMS
R'Qs MOTOR SPORTS	和田 久 城内 政樹	アールキューズ AMG GT3
HOPPY team TSUCHIYA	松井 孝允 佐藤 公哉	HOPPY Porsche
apr	永井 宏明 織戸 学	TOYOTA GR SPORT PRIUS PHV apr GT
Yogibo Drago CORSE	道上 龍 密山 祥吾	Yogibo NSX GT3
arto Ping An Team Thailand	ション・ウォーキンショー ナタポン・ホートンカム ジュリアーノ・アレジ	arto RC F GT3
NILZZ Racing	田中 優暉 飯田 太陽	植毛ケーズフロンティア GT-R
Arnage Racing	加納 政樹 柳田 真孝	Arnage AMG GT3
KONDO RACING	藤波 清斗 ジョアオ・パオロ・デ・ オリベイラ	リアライズ日産自動車大学校 GT-R
JLOC	松浦 孝亮 坂口 夏月	グランシード ランボルギーニ GT3
JLOC	小暮 卓史 元嶋 佑弥	JLOC ランボルギーニ GT3
Max Racing	三宅 淳詞 堤 優威	たかのこの湯 GR Supra GT
TOMEI SPORTS	青木 孝行 田中 篤	RUNUP RIVAUX GT-R

<ニュルブルクリンク 24 時間耐久レース>

2021 年は BMW カスタマーチーム「Walkenhorst Motorsport」とパートナーシップ契約を締結し、「第 49 回ニュルブルクリンク 24 時間耐久レース (ADAC TOTAL 24h-Rennen)」と「ニュルブルクリンク耐久シリーズ (NLS)」全 9 戦において 3 台の BMW の GT3 にタイヤを供給します。供給タイヤはドライ用の「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」。2020 年は「ニュルブルクリンク耐久シリーズ (NLS)」に参戦した 34 号車「BMW M6 GT3」が 最高峰クラスである SP9 Pro クラスのクラスチャンピオンを獲得しました。



2020 年の NLS でクラスチャンピオンを獲得した「Walkenhorst Motorsport」の「BMW M6 GT3」

<TCR リージョナル選手権・ナショナル選手権>

世界各国にて行われている TCR リージョナル選手権やナショナル選手権に ADVAN レーシングタイヤをワンメイク供給します。「TCR ジャパンシリーズ」をはじめ、海外でも「TCR Scandinavia」、「TCR Denmark」、「TCR Germany」、「TCR Russia」にもタイヤを供給します。供給タイヤはドライ用の「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」。



「TCR ジャパンシリーズ」(2020 年)

<その他 GT・ツーリングカーレース>

北米では 2021 年より新たに「Porsche Sprint Challenge North America by Yokohama」および「Yokohama Drivers Cup USA」にタイヤを供給するほか、日本で行われる「インタープロトシリーズ」など世界各地のレースに ADVAN レーシングタイヤをワンメイク供給します。



「Porsche Sprint Challenge North America by Yokohama」に参戦する「Porsche 911 GT3 Cup」

■フォーミュラレース

<全日本スーパーフォーミュラ選手権>

2016 年からワンメイク供給を開始した「全日本スーパーフォーミュラ選手権」では 2021 年も ADVAN レーシングタイヤを継続供給します。供給タイヤはドライ用の「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」。



「全日本スーパーフォーミュラ選手権」(2020 年)

<全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権>

「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」に、ADVAN レーシングタイヤをワンメイク供給します。同シリーズはこれまで「全日本 F3 選手権」が果たしてきた「トップドライバーへの登竜門」としての役割を継承し、2020 年より新たにスタートしたシリーズです。昨年続き、供給するタイヤはドライ用の「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」。



「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」(2020 年)

<Super-FJ>

JAF の地方選手権として、東北から九州までの主要サーキットにて地方選手権シリーズが設定され、激戦を繰り広げる「Super-FJ」に ADVAN レーシングタイヤをワンメイクにて継続供給します。

■ラリー

<全日本ラリー選手権>

2021 年は全 10 戦^{*}で競われる「全日本ラリー選手権」。ターマック（舗装路）では「ADVAN A08B」および「ADVAN A052」、グラベル（未舗装路）では「ADVAN A053」を中心としたラインアップでユーザーの走りを支えます。2020 年は、最高峰クラスとなる JN-1 で新井大輝選手／小坂典嵩選手がシリーズチャンピオンを獲得。また、JN-6 において明治慎太郎選手／里中謙太選手、JN-4 において小藤桂一選手がシリーズチャンピオンを獲得しました。2021 年も多くのクラスでチャンピオン獲得を狙います。なお、奴田原文雄選手／東駿吾選手と山本悠太選手／立久井和子選手は車両が「TOYOTA GR YARIS」に、柳澤宏至選手／保井隆宏選手は「ŠKODA FABIA R5」となります。

※第 1 戦は開催中止

(JN-1 クラス)

ドライバー コ・ドライバー	車名	車両
奴田原 文雄 東 駿吾	ADVAN KTMS GR ヤリス	TOYOTA GR YARIS
新井 敏弘 田中 直哉	富士スバル AMS WRX STI	SUBARU WRX STI
新井 大輝 小坂 典嵩	ADVAN KYB AMS WRX	SUBARU WRX STI
柳澤 宏至 保井 隆宏	ADVAN CUSCO FABIA R5	ŠKODA FABIA R5
山本 悠太 立久井 和子	Sammy☆K-one☆ルプロス YHGR ヤリス	TOYOTA GR YARIS



JN-1 クラスシリーズチャンピオンを獲得した新井大輝選手／小坂典嵩選手の「ADVAN KYB AMS WRX」（2020 年）

■スピード競技

<全日本ジムカーナ選手権>

「ADVAN A08B」「ADVAN A052」「ADVAN A050」の高性能を武器に、多くのクラスでチャンピオン獲得を目指します。2020 年は PN-1、SA・SAX-1 の計 2 クラスでヨコハマタイヤユーザーがシリーズチャンピオンを獲得しました。



PN-1 クラスシリーズチャンピオンを
獲得した齊藤邦夫選手の
「ADVAN08B ロードスター」(2020 年)

<全日本ダートトライアル選手権>

「ADVAN A053」をはじめ、軟質路面用「ADVAN A031」や超硬質路面用「ADVAN A036」など幅広い路面に対応したタイヤラインアップを武器に、多くのクラスでチャンピオンの獲得を目指します。2020 年は PN-2、SA・SAX-1、SA・SAX-2、SC-2 の計 4 クラスでヨコハマタイヤユーザーがシリーズチャンピオンを獲得しました。また、宝田ケンシロー選手は「TOYOTA GR YARIS」に車両を変更し、JD6 クラスに参戦します。



JD6 クラスに参戦する宝田ケンシロー選手の
「ADVAN オクヤマ GR ヤリス」

<ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ>

横浜ゴムはモータースポーツ振興促進活動の一環として国内のラリー、ジムカーナ、ダートトライアル競技参加者を支援する「ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ 2021」を実施しています。受付期間は 2021 年 4 月 30 日（当日消印有効）まで。同制度は登録したヨコハマタイヤユーザーを支援する制度です。対象競技などスカラシップの詳しい内容は専用サイト（<https://www.y-yokohama.com/cp/motorsports/scholarship/>）に掲載しています。

■参加型モータースポーツ

「TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race」、「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」、「N-ONE OWNER'S CUP」や、各地のサーキットにて開催されるレースにタイヤを供給します。

■オフロードレース

SUV、ピックアップ向けタイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」を擁し、北米、オセアニアでのデザートレースや東南アジアなどの海外で開催されるオフロードレースに参戦します。2020 年は北米最大級のオフロードレース「Best In The Desert 2020」の最終レースである「BlueWater Desert Challenge」で「GEOLANDAR M/T G003」の市販タイヤをベースにレース向けに強化されたタイヤを装着した Justin Lofton（ジャスティン・ロフトン）選手が総合優勝しました。



「BlueWater Desert Challenge」で総合優勝した
Justin Lofton 選手の参戦車両 (2020 年)

■その他レース

<ヒルクライム>

米国・コロラド州で開催される「Pikes Peak International Hill Climb」に参戦し、多くのクラスでの優勝および総合連覇を目指します。2020年は「ADVAN A005」を装着した Clint Vahsholtz（クリント・ヴァーショルツ）選手が駆る「2013 Ford Open」が総合優勝を獲得しました。また、「Porsche Cayman GT4 Clubsport」により競われる「Porsche Pikes Peak Trophy by Yokohama」へのワンメイク供給を継続し、ストリートスポーツタイヤ「ADVAN A052」を供給します。



総合優勝した Clint Vahsholtz 選手の
「2013 Ford Open」(2020年)



「Porsche Pikes Peak Trophy by Yokohama」に
参戦した「Porsche Cayman GT4 Clubsport」(2020年)

<カートレース>

国内カートレースの頂点に位置する「全日本カート選手権」の最高峰クラスである OK 部門に参戦し、ヨコハマタイヤユーザーのチームやドライバーとともに勝利を目指します。また、「ジュニアカート選手権」では2020年に引き続き、FP-ジュニア Cadets 部門をサポート。Cadets 部門向けドライ用タイヤ「ADVAN SLJ（名称：ADJ）」をワンメイク供給します。海外でも「アジア・カーティング・オープン選手権」へのワンメイク供給を継続。またフィリピンなどのサーキットレースに向けて幅広くタイヤを供給します。



全日本カート選手権 OK 部門に参戦した
Croc Promotion の三村壮太郎選手 (2020年)

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570